

平成 27 年度 第 7 回「防災スペシャリスト養成」企画検討会

議事概要

1. 検討会の概要

日 時：平成 28 年 3 月 14 日（月）13:15～15:30

場 所：中央合同庁舎 8 号館 5 階共用会議室 A

出席者：林座長、岩田委員、牛山委員、鍵屋委員、国崎委員、黒田委員、重川委員、
渡邊委員、
中林教授、宇田川研究主幹
緒方審議官、進藤参事官、山田参事官補佐

2. 議事概要

各委員による意見交換を行った。主な意見等は次のとおり。

- 資料 4 の P.11 のスライドでは、「災害編への備え」を「災害予防対策」と「災対対応対策」の 2 つに分けているが、防災基本計画で使われている「災害予防対策」には、「被害抑止対策 (mitigation)」と「被害軽減対策 (preparedness)」との両方が含まれているため、用語の定義について整理が必要。
- 政府では「レジリエンス」という言葉を「予測力」、「予防力」、「対応力」の 3 つで定義するようになってきており、「予防」と「対応」が分けて使われている。本資料でも、従来の「予防」という言葉を「備え」に置き換えることも考えられるのではないか。
- 自治体の現場の職員の悩みは、事前対策のための予算をとって助成したとしても、実践が進まないというところにある。何故、事前の対策を進めると被害が減るのかについて自信をもって説明できるようになるための講義があるとよい。
- 本研修の主たる受講者は住民を相手に業務を行っている自治体職員であることから、日常業務で自信を持って住民に説明や交渉ができるようになるため、「なぜ、このような対策が必要なのか」という背景や意義について教えていくことが重要。
- 社会基盤の機能に防災という要素が入っていることや、特定のハザードに向けられたものであることなど、被害抑止の思想、考え方について説明する単元を設けてはどうか。
- 都市の災害に対する脆弱性は、都市計画の段階から原因があるので、被害発生のメカニズムや被害を抑止するための対策を背景から理解してもらうためには、都市計画のあり方と被害、対策までの関連性を教える講義が必要ではないか。
- 「単元の概要」を活用して、受講者がコースの内容を適切に判断できるようにすれ

ばよいのではないか。

- 各コースを担当するコーディネーターに、各単元の「学習目標」を作成していただき、コース間で重複があるものについて調整するようにはどうか。
- 単元のタイトルの重複については、名称が同じでも中身が違ってもあり神経質になる必要はない。実際に講義で取り上げる学習内容については、コーディネーター同士で打合せ調整した後に、企画検討会に報告してはどうか。
- 資料 3-1 の「②災害への備え」コースの単元のうち、「災害ボランティア」は、「④応急活動・資源管理」コースの「広域的応援」の一部に含めた方がよいのではないか。
- 本研修は、対応力を高めることに主眼をおいているため、「被害抑止対策（mitigation）」についての講座が少ないということを、受講者にも分かるように明確に示した方がよい。
- 「②災害の備え」のコースが「予防対策」を扱うのであれば、ハード対策についての講義をもう少し増やしてはどうか。
- 平成 27 年度のコース設計と今回の修正案とでは、「応急活動」と「資源管理」の2つのコースを1つにまとめることと、「⑩組織運営」のコースを設けることの2点が大きな違いである。
- 単元の名称を柔軟に変更していくことはよいが、資料 3-1「研修内容の体系(案)」で示された研修コースの構成案が、現在の有明の丘研修のコースの体系と比べてどう違うのかを明確に示した方がよい。
- コースで教える内容の方向性についてはもう少し整理するという条件付きで、資料 3-1 で示されている研修のコース案は承認する。
- 資料4の P9と P10 のスライドでは、「災害予防対策」と「災害への備え」の言葉の定義が矛盾しており、整合がとれるよう見直すこと。
- 資料4のP3「地域の災害リスク」のスライドでも、「災害への対策」の内容は、P9と P10 の表記の問題と関係してくるため、P3も合わせて見直すべき。
- P2の「防災マネジメント」のスライドの説明文に「総合的に管理すること」とあるが、「総合的」の意味が曖昧であるため、「総合的、効果的に運用すること」か、他の表現とあわせて「継続的に改善を図ること」と修正した方がよいのではないか。
- P15 の「組織運営」のスライドでは、「個別オペレーション」の部分に「実施」と「評価」の記述がないため、フローを見直した方がよい。
- 平成 28 年度上半期では、資料 3-2 にある第 4 階層から第 6 階層までの項目を設定した上で、第 5 階層の項目に学習目標を設定し、さらに第 4 階層の各単元のまとめとして「標準テキスト」(パワーポイント)を作成する。